

令和7年度岡山市区づくり推進事業 申込事業一覧（中区）

	事業名 団体名	事業部門 実施小学校区	開催日・場所(予定)	概要
1	第28回百間川ふれあいフェスティバル 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会	広域交流部門 宇野・旭竜・高島 幡多・財田 竜之口・三敷	令和7年4月20日(日) 【開催済】 中区東川原地先 百間川ワイワイ広場 令和7年8月30日(土) 百間川サッカーラグビー場	歴史的経過がある「百間川」をメインテーマとし、地域との連帯感を醸成するだけでなく、地域の発展と自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割など、河川の果たす治水・利水、環境美化・ゴミ減量化、地域の発展・青少年の健全育成など協働してのまちづくり・市民づくりを推進する。
2	たかしま音楽祭・2025 高島音楽祭実行委員会	広域交流部門 高島・旭竜	令和7年5月31日(土) 中区今在家地先 百間川せせらぎ広場	市民の憩いの場となっている百間川沿いの「せせらぎ広場」を会場に音楽会を開催し、小さな子供からお年寄りまで参加し、音楽を通じて親睦・交流を図り、ひと時のくつろぎの場を提供し、地域文化を創造する。 小中学生時から、地域のボランティア活動に触れ、豊かな心を育み、次世代の育成に努める。令和7年度は10周年記念として規模を拡大して開催する。
3	ふれあい夏祭りin百間川 ふれあい夏祭りin百間川実行委員会	広域交流部門 財田・幡多	令和7年7月26日(土) 中区米田橋から今谷橋までの 百間川緑地地内	多くの市民が利用する場所として定着し市民の憩いとスポーツ振興に役立っている百間川緑地を会場として夏祭りを開催する。財田学区と幡多学区が協力して広範な夏祭りを開催することで、学区の壁を乗り越え、さらなる地域住民同士のふれあいや相互協働を目指す。
4	操明学区「桜祭り」 操明学区桜並木実行委員会	身近な交流部門 操明	令和7年4月6日(日) 【開催済】 岡山ふれあいセンター 芝生広場・ 軽スポーツ広場	学区内の百間川西岸土手に22年前に完成した180本以上の桜並木を貴重な社会資本として育て、桜並木の周知と自然環境の保全・整備の大切さを訴える事業で、学区内のほとんど全ての団体が参加・協力しており、学区の一体感や自然愛護精神を広めていく。
5	三世代交流ふれ合いフェスタうの2025 三世代交流ふれ合いフェスタうの実行委員会	身近な交流部門 宇野	令和7年7月26日(土) 宇野小学校	学区内各種団体・学生ボランティアとの交流を図り、三世代交流及び障害者交流の場を提供し、地域の連帯感を醸成するとともに、防災・交通安全、環境美化の意識向上に向けて、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会構築を図る。
6	第21回富山文化まつり 富山文化まつり実行委員会	身近な交流部門 富山	令和7年10月25日(土) 令和7年10月26日(日) 富山小学校 及び富山公民館	幼児から高齢者まで多くの方々に参加してもらい、文化まつりを通して地域の輪・文化の輪を広げ、各種団体の活動を地域民に知ってもらい、学区民・各種団体、企業等が参画し学区全体の連帯感を高め、地域活性化を図る。
7	平井まつり“2025” 平井まつり実行委員会	身近な交流部門 平井	令和7年10月25日(土) 平井小学校	学区の学校園・各種団体及び地域の企業や行政が一致団結し、世代を超えて誰でも楽しめて交流できる機会を提供することで、「わがまち平井」の良さを再認識し、心豊かで活力のある安全で安心して暮らせるまちづくりを推進し、地域の活性化を図る。

	事業名 団体名	事業部門 実施小学校区	開催日・場所(予定)	概要
8	三勲学区ふれあい事業 (夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)	身近な交流部門	【夏】令和7年8月16日(土) 三勲小学校	世代を超えた地域住民のふれあいや、青少年の健全な育成をすることで将来の地域を担う人材育成への礎を築くなど、「住んでみたい三勲学区を創ろう」を合言葉に、四季を通じた交流事業を開催し、コミュニティの育成と地域の活性化を図る。
	三勲会	三勲	【冬】令和7年12月7日(日) 東山公園集会所前	
9	地域づくり会議の運営と事業展開 平井学区地域づくり会議	地域活動部門 平井	令和7年4月～令和8年3月	地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、解決に向けた話し合いや方向性、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指している。 高齢者の認知症予防、健康チェック、子どもたちの居場所づくり、防災マップの具体化の検討を通じ、中高生にもっと地域のことに関心を持ってもらう。
10	旭竜助け合い隊推進事業 旭竜学区支え合い推進協議会	地域活動部門 旭竜	令和7年4月～令和8年3月	介護保険では対象とならない高齢者の日常生活における困りごとを支援する一方、サポーター活動を通して、更なるボランティア精神の涵養、活動による生きがいの発見と認知症予防を目的とし、「いつまでも住み続けたいと思う」まちづくりを目指す。